



落合と寺尾南の地区社協との交流会を 大上地区社協の役員研修会は本年も2月に実施

大上地区社協の本年度の役員研修会は、2月6日（金）に綾瀬市内14地区社協のうちの落合と寺尾南の地区社協を訪ね、意見交換会を行いました。

この研修会は、大上地区社協の活動を更に充実させるための役員の勉強として毎年実施しているもので、当日は市ノ澤会長以下役員と会員22名、市社協から大上担当の根本氏の総勢23名が市のマイクロバスを利用して、まず落合地区社協が市から委嘱されて管理運営している“落合ふれあいの家”を訪問。同地区社協の戸田会長以下12名の応対を受けて高齢者事業を始め、児童の登下校時の見守り、ふれあいの家の事業等について説明を受けると共に意見交換を行なった。

そして吉岡にある貴志園で昼食をとり、市役所3階の会議室で災害とボランティア活動に関して東日本大震災や昨年の台風18号による綾瀬市内の被害状況と今後やるべき事等について市社協の安部氏によるパワーポイントでの説明で勉強した後、寺尾釜田にある寺尾南地区社協が運営している“サロンなごみ”を訪ねる。同地区社協では、中山会長以下10名の皆さんが受け入れて下さり、中山会長から活動状況の説明を受けると共に、落合と同じような内容での意見交換が行われ、参加した皆さんは熱心に聞き入っていました。

両地区社協とも、地域の諸団体との連携が進んでいる一方、高齢者に対する活動も着実に実績を出しているが、地区社協の次代の担い手の育成が大上地区社協同様に大きな課題といえよう。



落合の皆さんと記念写真に収まる



寺尾南で中山会長の説明を受ける

綾瀬市教育委員会から表彰される



表彰状と記念の盾

平成26年度綾瀬市教育委員会表彰式が、2月11日（水）午前10時から市役所3階の会議室で行われ、大上地区社協も表彰された。

この表彰は、綾瀬市の教育行政の発展に寄与した功績に対して個人と団体に授与されるもので、本年度は小中学生から一般までの個人54名および20団体が表彰された。大上地区社協も長年にわたって綾北小学校と北の台小学校の通学路の見守りで、地域の子どもの安全に寄与していることが評価されたもの。

当日は、受賞する一般の部のボランティア関係の9団体を代表して、大上地区社協の市ノ澤会長が安藤教育委員長から表彰状と記念の盾を授与された。式典の後、受賞者の皆さんは関係者と安藤教育長、笠間市長、山田市議会議長等を囲んで記念写真に収まっていた。



安藤教育委員長から表彰状を受ける市ノ澤会長